

「自然の中でのびのびと」

都城市立吉之元小学校 養護教諭 川原 明美

吉之元小学校は全校児童10名（1年1名、2年1名、3年3名、5年3名、6年2名）の小規模校です。霧島連山の麓に位置し、校舎3階から見る霧島山は絶景です。

また、夜間氷点下6℃以下になる冬場にはPTAの協力で運動場にスケートリンクができあがり、児童が特製のスケートリンクで楽しそうに滑る様子がニュースでも放送され、県内でも有名になっています。

児童は登校すると毎朝、校長室に行き、元気な挨拶とともに校長先生からの健康チェックを受けます。

毎週月曜日の朝は、地域の方々が学校花壇の手入れに来てくださり、四季折々の花を植えていただき、児童や私たちの目を楽しませてくださいます。

小規模校ならではの学校行事も多く、5月に地区の高齢者の方々とグランドゴルフ大会を開催し、思いやりの心や地域のつながりの大切さを実感できる機会になっています。

また、学校近くの方に、毎年梅ちぎりの体験をさせてもらい、収穫した梅で梅干し作りを行っています。その他にも、保護者の指導のもと自然農法を取り入れた米作りで、田植え、稲刈り、脱穀まで体験し、食の大切さや収穫の喜び、協力する心を育てています。

10月には地域の高齢者の方々を招待して交流給食を行い、食を通しての触れ合い活動も行っています。このように地域の方々に見守られながら、児童はのびのびと学校生活を送っています。

また、毎日の給食はランチルームで全校児童、職員で食べます。誕生日には、児童、職員全員からのメッセージ入りの誕生カードを渡し、全員でお祝いすることにより、命の大切さ、自己存在感を育むことへつなげています。

小規模校であるがゆえに児童は人間関係で悩んだりすることもあり、養護教諭として様々な活動を一緒に体験することにより、児童の様子を観察する良い機会になっています。全職員で情報を共有し、早めの対応ができるという恵まれた環境にもあります。

保健面での課題は生活リズムの乱れや、基本的衛生習慣がなかなか定着していないことがあげられます。これらのことから、全校児童に指導する機会を捉えて分かりやすい指導を心がけています。また、参観日の全校懇談会の際に保護者への啓発も行っています。今後も継続した指導の必要性を感じています。

吉之元小の子どもたちとの出会いを大切に、吉之元の自然の中で、子どもたち一人一人が笑顔で過ごせるよう微力ながら努めていきたいと思えます。